

# 仕様伺書

## 対象形式：PRP

お客様記入		弊社記入		営業部門	
形 式		JOB No.		承認	作成
貴 社 名		機 番			
お 名 前		営業担当			
注 番					

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。  
標準設定値とは、一切のご指定がないときの値です。

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	コメント
------	-----------	-------	------

### ■ハードウェアによる設定項目（カバー内部のSWにて設定します。）

作動	<input type="checkbox"/> 正作動 <input type="checkbox"/> 逆作動	逆作動	逆作動に選定時、入力信号減少で出力軸は全閉します。
入力信号断時、出力軸動作	<input type="checkbox"/> 信号断位置で停止 <input type="checkbox"/> 全開位置で停止 <input type="checkbox"/> 全閉位置で停止	信号断位置で停止	

### ■ハードウェアまたはソフトウェアによる設定項目（カバー内部のSWまたはプログラミングユニットにて設定します。）

全閉位置 -5 ~ +50°	<input type="checkbox"/> 全閉 (0°) <input type="checkbox"/> °	全閉 (0°)	全閉時の出力軸位置を指示します。
全開位置 40 ~ 95°	<input type="checkbox"/> 全開 (90°) <input type="checkbox"/> °	全開 (90°)	全開時の出力軸位置を指示します。
出荷時出力軸位置 0 ~ 90°	<input type="checkbox"/> 全開 (90°) <input type="checkbox"/> °	全開 (90°)	全閉位置を0°として、出荷時出力軸位置を指定します。

### ■ソフトウェアによる設定項目（プログラミングユニットにて設定します。）

閉リミッタ* <sup>1</sup> -5 ~ +25 %、0.1 % 単位		0 %	
開リミッタ* <sup>1</sup> 75 ~ 105 %、0.1 % 単位		100 %	
全閉信号位置* <sup>1</sup> 0 ~ 25 %、0.1 % 単位		3.6 %	全閉信号位置を使用される場合は指定して下さい。 全閉信号位置 ≥ (閉リミッタ + 0.5 %)
全開信号位置* <sup>1</sup> 75 ~ 105 %、0.1 % 単位		96.4 %	全開信号位置を使用される場合は指定して下さい。 全開信号位置 ≤ (開リミッタ - 0.5 %)
スプリットレンジ	<input type="checkbox"/> 指定なし <input type="checkbox"/> 指定あり	指定なし	スプリットレンジで使用される場合は、『指定あり』にチェックして下さい。
スプリットレンジ種類	<input type="checkbox"/> LO <input type="checkbox"/> HI	LO	スプリットレンジで使用される場合は指定して下さい。
スプリット点* <sup>1</sup> 30 ~ 70 点、0.1 % 単位		50 %	スプリットレンジで使用される場合は指定して下さい。
形式/開閉時間設定値 PRP-00 / 1 ~ 50 PRP-10 / 1 ~ 20			開閉時間によりトルクが異なります。 仕様伺書の手引きを参照して下さい。 次の形式の開閉時間設定値は下記の通りとなります。 PRP-01 / 30 PRP-03 / 12 PRP-11 / 20 PRP-13 / 12
不感帯幅設定値 0.1 ~ 5 %、0.1 % 単位	不感帯幅設定値 <input type="checkbox"/> 0.5 % <input type="checkbox"/> 0.4 % <input type="checkbox"/> 0.2 % <input type="checkbox"/> 0.1 % <input type="checkbox"/> %	分解能 1 / 200 1 / 250 1 / 500 1 / 1000	0.5 % 最大動作角度を100%として指定します。 設定値を大きくした場合、分解能が悪くなります。

再起動制限タイマ 0 ~ 30 s、0.1 s 単位		2 s	
電源遮断時の作動時間設定値 PRP-0 <input type="checkbox"/> / 1 ~ 50 PRP-1 <input type="checkbox"/> / 1 ~ 20		PRP-01 / 30 PRP-03 / 12 PRP-11 / 20 PRP-13 / 12	停電緊急作動機能付の場合は指定して下さい。 作動時間によりトルクが異なります。 仕様伺書の手引きを参照して下さい。 作動時間は形式には反映されません。 例) 開閉時間 12 秒 / 90° で作動時間を 60 秒 / 90° という設定が可能です。
電源遮断時の出力軸動作 位置* <sup>1</sup> 0 ~ 100 %、0.1 % 単位	<input type="checkbox"/> 全閉 (0 %) <input type="checkbox"/> 全開 (100 %) <input type="checkbox"/> %	0 % (全閉)	停電緊急作動機能付の場合は指定して下さい。 中間位置で停止させることも可能です。

\* 1、全閉、全開で設定した動作角度を 100 % として指定します。

## 仕様書作成の手引き

### ■開閉時間と作動時間について

ソフトウェアの設定項目において、開閉時間と作動時間を変更することができますが、開閉時間および作動時間によりトルクが変わります。必要トルクを考慮の上、下記を参考にして開閉時間設定値および作動時間設定値を選定して下さい。

なお、開閉時間および作動時間は加速・減速時間を含んでいません。加速・減速時間はそれぞれ約0～2秒で、開閉時間および作動時間が早いほど長くなります。

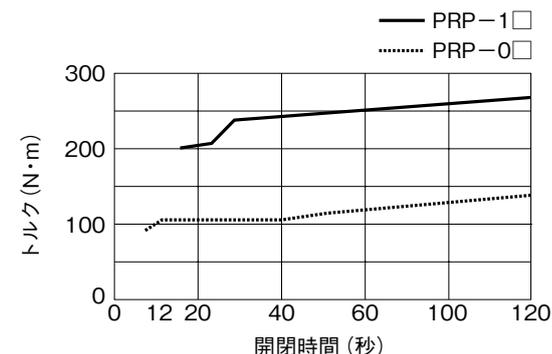
#### PRP-0 □

DATA	開閉時間 (sec. / 90°)	トルク (N・m)	作動時間* <sup>2</sup> (sec. / 90°)
1	125	140	125
3	60	125	60
5	45	120	45
8	33	120	33
10	28	110	28
12	24	110	24
17	18	110	18
30	12	110	12
34	10	110	10
50	8.5	90	8.5

#### PRP-1 □

DATA	開閉時間 (sec. / 90°)	トルク (N・m)	作動時間* <sup>2</sup> (sec. / 90°)
1	125	270	125
3	60	270	60
5	45	240	45
8	33	240	33
10	28	220	28
12	24	200	24
20	16	200	16

\* 2、作動時間とは停電緊急作動時の時間を示します。



### ■再起動制限タイマについて

モータの過熱防止のため、モータが一旦不感帯に入って停止すると、次に起動するまでにインターバルを設けてモータの過熱を防止しています。高温雰囲気で使用される場合は、再起動制限タイマを長く設定して下さい。

### ■スプリットレンジについて

ソフトウェアの設定項目において、スプリットレンジの設定ができます。スプリットレンジを指定される場合は、下図を参考にしてスプリットレンジの種類およびスプリット点も指定して下さい。

なお、スプリットレンジが指定なしの場合、スプリットレンジの種類およびスプリット点の設定値は無効となります。

